

レース名	日付	クラス	場所	コース	展開	想定馬場	ポイント
かきつばた記念	2019/5/1	JpnIII	名古屋	1400m	ハイペース	重	先行力、立ち回り力

枠	馬番	馬名	性齢	斤量	騎手	父	父系統	母父	母父系統	能力	騎手	適性	展開	総合評価	期待値	印	結果
1	1	キクノステラ	牡7	52	岡部	エンパイアメーカー	ミスプロ系	サクラバクシンオー	ナスルーラ系	B	B	C	C	B	B	△3	
2	2	ヤマニンアンプリメ	牝5	54	鮫島良	シニスターミニスター	ナスルーラ系	サンデーサイレンス	サンデー系	A	C	B	B	B	B	○	
3	3	メモリートニック	牡5	51	友森	タニノギムレット	ロベルト系	ジェニユイン	サンデー系	D	C	D	D	D	D		
4	4	サクラレグナム	牡10	52	赤岡	サクラプレジデント	サンデー系	ブライアンスタイム	ロベルト系	C	A	A	B	B	A	△1	
5	5	リエノテソーロ	牝5	54	大野	Speightstown	ミスプロ系	Langfuhr	ノーザン系	B	C	B	C	C	C		
	6	エイシバランサー	牡7	56	下原	Ghostzapper	ノーザン系	Mizzen Mast	ナスルーラ系	B	A	B	B	B	B	△2	
6	7	ブランニュー	牡7	51	今井	ブライアンスタイム	ロベルト系	メジロマックイーン	パーソロン系	D	B	D	D	D	D		
	8	ウインムート	牡6	57.5	和田	ロージズインメイ	ヘイロー系	マイネルラヴ	ミスプロ系	A	B	B	B	B	B	▲	
7	9	サンデンバロン	牡7	51	木之前	モルフェデスベクタ	ノーザン系	ソングオブウインド	ミスプロ系	D	C	D	D	D	D		
	10	ゴールドクイーン	牝4	54	古川	シニスターミニスター	ナスルーラ系	タイキシャトル	ヘイロー系	B	C	C	B	B	B	×1	
8	11	スムーズジャズ	牡5	51	加藤聡	ローエングリソ	ノーザン系	シンボリクリスエス	ロベルト系	C	B	B	C	C	B	×2	
	12	デーオーヘリオス	牡7	57	浜中	Fusaichi Pegasus	ミスプロ系	Afternoon Deelites	ダマスカス系	A	B	B	B	B	A	◎	

隊列図	見解	ラップタイム
ハイペース	<p>一般的にコーナー4回のダート1400mは差しやマクリが決まりやすいが（兵庫ゴールドトロフィー、黒船賞、さきたま杯などをイメージして頂ければ分かりやすい）、かきつばた記念が行われる名古屋競馬場は直線距離が日本一短く、逃げ、先行勢が圧倒的に有利なコース。過去5年のかきつばた記念勝ち馬のうち3頭は4コーナー先頭からの押し切り勝ち（15年コーリンベリー、17年トウケイタイガー、18年サクセスエナジー）。シンプルに実力のある逃げ、先行馬を狙うのがベストだろう。それでは予想にいきましょう。ここはやや盲点になっている伏兵から入りたい。</p> <p>本命は<b>デーオーヘリオス</b>が面白そう。昨年の北海道スプリントカップ以降、苦戦が続いているものの、東京盃⇒3番ゲートから出負け気味で後手後手の競馬、JBCスプリント⇒内伸び馬場&amp;立ち回り決着で15番ゲート発走、オータムリーフS⇒内伸び馬場&amp;立ち回り決着で15番ゲート発走、黒船賞⇒2番ゲートから揉まれて戦意喪失、東京スプリント⇒大井1200mで不利な16番ゲートと敗因が明らかなレースばかり。（以下省略）</p>	

枠	馬番	馬名	印	評価	結果	回顧
1	1	キノステラ	△3	昨年の兵庫ゴールドトロフィーで上り最速の脚を使って3着に好走。今回は園田より差しが決まりにくい名古屋コースなので、あそこまで上手くいくかは微妙だが、展開ひとつ。		
2	2	ヤマニンアンプリメ	○	前走黒船賞は中団から上り最速の脚を使って、勝ち馬サクセスエナジーからタイム差なしの2着に好走。シニスターミニスター産駒は、キングスガード、ハヤブサマカオーなどもそうだが、スピードの持続性に長けているため、コーナー4回のダート1400mでよく走る傾向がある。		
3	3	メモリートニック		地元の地方重賞でも掲示板までが精いっぱい馬。ダートグレードでは荷が重過ぎる。		
4	4	サクラレグナム	△1	コーナー4回のダート1400m巧者で、直近のダートグレードでも18年兵庫ゴールドトロフィー4着、18年黒船賞5着と健闘。しかも2戦とも勝ちに行く競馬に徹しており、直線でも止まったとはいえ、着順以上に評価できる内容だった。今回は兵庫や高知よりも先行力、立ち回り力が生きやすい名古屋コース。		
5	5	リエノテソーロ		前走マリーンカップではラーゴブルーに0.8秒差をつけられての3着に敗退。このレースにラーゴブルーが出走していれば、そこまで人気を集めないはずで、JRA勢かつダートグレードの実績ありという点だけで売れるなら軽視でいいのでは。牡馬混合のダートグレードでは分が悪いはず。		
	6	エイシンバランサー	△2	昨年のサマーチャンピオン勝ち馬。前走黒船賞でも4着に健闘しており、ダートグレードでJRA勢と遜色ない走りを見せている。血統的に一本調子な面があり、気分よく運べるかが重要になるが、能力通りなら上位争いに加わってきていい。		
6	7	ブランニュー		過去のレースぶりからダートグレードでは能力不足が明らか。JRA勢のスピードについていけないだろう。		
	8	ウインムート	▲	前走兵庫ゴールドトロフィーは逃げるサクセスエナジーを力でねじ伏せて勝利。そのサクセスエナジーはその後、黒船賞を制しており、単純に考えれば、黒船賞組より上位に評価していいだろう。逃げ馬らしくややムラな面はあるものの、スムーズな先行策さえ打てれば、簡単にはバテない馬。		
7	9	サンデンバロン		前走東海桜花賞ではキノステラ、スムーズジャズに完敗。ダートグレードでは荷が重い。		
	10	ゴールドクイーン	×1	行き切れる強みがあるものの、前走ギャラクシーステークスは馬場差-2.2の超高速馬場で、本馬のスピードが存分に生きた形。今回はさすがに上り35秒台の決着にはならないはずで、ウインムート、テーオーヘリオスのプレッシャーを受け、上りのかかる競馬になった時、踏ん張れるイメージがあまり湧かない。		
8	11	スムーズジャズ	×2	地元の重賞でもまだ勝ち鞍がないので、さすがに厳しいかもしれないが、前走東海桜花賞では勝ち馬キノステラから0.2秒差の2着に好走。レースセンスが高く、相手なりに走る面があり、斤量51キロの軽量なら少しか押しさえておきたい。		
	12	テーオーヘリオス	◎	昨年の北海道スプリントカップ以降、苦戦が続いているものの、敗因が明らかでないレースばかり。今回はメンバー、枠順の並びからスムーズな先行策が濃厚。近走の1200mでの追走スピードから1400mへの距離延長もプラスに働くはずで、久しぶりに本来の能力をフルに発揮できるのではないかと。		